

## 民生文教常任委員会町内視察

健康こども課所管の「健康づくりセンタープラム」と「町立東陽病院」の視察を1月31日に行いました。はじめに今年度から健康管理課から健康こども課へととなり、母子健康管理、健康増進事業、歯科保健、栄養・食育やこども医療費等に関する業務、保育児童措置、放課後児童クラブなど仕事は多岐にわたっています。町民の健康を守るため健康診断はじめ、がん検査や健康教育等を様々な工夫で周

知していただきました。委員全員が健康こども課の取り組みには高い評価でした。



業収益が若干落ちています。医療従事者への奨学金制度も実を結んできており、4月からは新人看護師数名が勤務してくれるそうです。特に医師の確保には引き続き尽力願いたいところです。また今まで一般病床は、急性期を過ぎると慢性期の方を療養病床へ移してしま

一の入院施設「町立東陽病院」の視察です。今回は昨年に導入した電子カルテシステムについて説明があり、会計の待ち時間の改善や画像データの管理が正確になったそうです。残念ながら常勤医師の減少等の理由で医

力が感じました。今後とも、町民の健康を守っていくという関係者の熱意と努力を感じました。

たが、急性期を過ぎ在宅までの期間を地域包括ケア病床に移すことで増収が見込まれますので5床を変更しました。

## 総務経済常任委員会と町農業振興会との懇談会



2月9日横芝光町役場会議室にて、総務経済常任委員会と町農業振興会の懇談会が、『町における農業の現状と今後の将来像について』を

テーマに、42名の出席により開催されました。横芝光町における農業の現状は、農家所得の減少、農業の担い手の高齢化、農業後継者不足、耕作放棄地の増加等の多くの課題を抱えております。このような中で、「農業を懸命に取り組んでいる農家への補助金等を活用した積極的な事業展開ができるよう、議会も創意工夫をし、一緒になって取り組んでもらいたい。そのことによって、農業が元気になると同時に他の産業も元気になり町の発展につながる。」という、議会と行政との役割を求める声がありました。

次に、農地中間管理機構の議題に移り、「農業の将来にとっては農業従事者が楽しく働いて一定の所得が得られるような、農業経営環境整備が必要である。そのためには、地域コミュニケーションを図り、貸し手・借り手の相互理解が必要不可欠である。他地区からの耕作業者ですと違和感があり、地域崩壊にも繋がりかねず、地区内の借り手による耕作をお願いするのが最良である。また、農業経営は将来的に規模拡大による大型機械導入のコスト削減等から、水田の基盤整備事業を推進することが肝要である。」等々、活発な意見交換ができ、実り多い大変に有意義な懇談会となりました。

## 編集後記

「目には青葉山ほととぎす初鱈」というみずみずしい季節を迎えておりま

す。横芝光町誕生10周年記念事業が終了し、町づくりの節目となる新年度がスタートしました。

現在、町では人口減少による地方創生総合戦略や成田国際空港の機能強化策の問題などがある一方で、町の基幹産業である農業の農地中間管理機構促進策の基盤整備事業や新たな観光事業の推進など各種事業展開による将来に向けた町の活性化への取り組みが進められています。

このような状況の中で議会は町民を代表する機関として、議会だよりや町のホームページなどを通して、町の情報を町民の皆様と共有し、対話により将来を見据えた町づくりを積極的に推進していくことが肝要と思います。

そのようなことから、町民の皆様とともに歩む議会を前面に打ち出し、更に10年、20年、30年先の町の発展を追求していかなければならないと考えております。

今後とも、なお一層の町民の皆様への温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

広報委員一同